



太宰府天満宮菖蒲池(平成30年6月撮影)

## 議会を傍聴してみませんか!!

6月定例議会の日程(予定)

日	月	火	水	木	木	土
5/26	27	28	29	30	31	6/1
					本会議 提案理由説明	
2	3	4	5	6	7	8
		本会議 質疑・委員会付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	
9	10	11	12	13	14	15
	建設経済 常任委員会					
16	17	18	19	20	21	22
		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	本会議 報告・質疑 討論・採決	

予算特別委員会 …………… 40P  
 3月定例議会リポート…………… 42P  
 一般質問(代表質問・個人質問) …… 45P  
 議会基本条例検証報告 …………… 51P  
 正・副議長の交代 …………… 52P  
 市議会議員人権・同和問題研修報告 …… 52P

**本会議は51名、委員会は12名まで傍聴できます。**

予約の必要はありませんので、  
どうぞお気軽にお越しください。

予算審議でこんな質疑がありました

問: AI(人工知能)を取り入れた市民サービスは検討していますか?

答: 全国の自治体でAIの導入を試験的に進めており、本市としても検討しなければいけないと考えています。



問: 公共施設整備基金積立金(4,420千円)が前年度と比べて大きく減額した理由について?

答: マミーズ太宰府店の閉店により家賃収入が減少したためです。

問: マミーズ太宰府店の撤退後は、同様のスーパーが入居するのですか?

答: 同じ業態が入居するのが一番継続的なのですが、4月までに決まらなければ様々な可能性を検討したいと考えています。

マミーズ太宰府店 (1F)



問: マミーズ太宰府店の閉店に伴い廃止された、マミーズまほろば号東観世線の代替交通はどうなりますか?

答: マミーズまほろば号と同様の車輛を運行する経費を予算計上しており、早期の運行ができるよう手続きを進めています。

問: 元気づくりポイントの健康づくり奨励品について、モノ(奨励品)からコト(公共施設の利用券等)への変更などを検討しましたか?

答: 事業も3年目を過ぎまして、事業のやり方も含めた内容について検討中です。

問: 古紙等資源再利用事業奨励金(20,064千円)の内容について?

答: 古紙等の資源回収を行った団体に対して、今まで1kg当り7円の奨励金を交付していましたが、新年度より8円へ増額する予算を計上しています。



問: 太宰府館の管理委託(17,420千円)を指定管理にできないのですか?

答: 指定管理にできない理由はありませんが、設置目的の一つに地元の振興という目的があり、開館当初から直営で管理をしています。

太宰府館



問: 水城駅・口無線の道路事業について、国の補助金が予定通り配分されなかった場合は、市の単独費を投入して事業を行う考えはあるか?

答: その時点で議会、市民にしっかりと説明を行い、新たに補正予算が必要な場合は説明をつくして承認いただきたいと考えています。

問: 新設される大宰府政庁前駐車場の管理業務委託料(5,168千円)の内訳と、収入見込みについて?

答: ゲート式駐車場の委託料が306万円、駐車場対応の人件費として211万円です。収入は553万円を見込んでいます。

大宰府政庁前駐車場



問: 歴史まちづくり関連工事(133,552千円)の内容について?

答: 大宰府条坊跡解説広場整備事業として、トイレ、展望施設及び広場等の整備を行います。

問: 小中学校におけるICTを活用した授業の進め方について?

答: まずは先生方の研修を行い、順次、授業の中で活用を進めて、教育全般の中でICT機器を活用して行きます。

平成31年度

予算 原案可決



平成31年度予算特別委員会が2月21日・3月13日・14日に開催され、一般会計、4特別会計、2公営企業会計について慎重に審議を行い、3月19日の本会議において、多数の賛成をもって原案のとおり可決されました。

		前年度比較	
一般会計	244億2,623万円	4億6,834万円	増額
4特別会計	136億7,868万円	3億3,905万円	増額
国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計			
2企業会計	43億4,088万円	4億7,292万円	減額
水道事業会計、下水道事業会計			

平成31年度より、水城小学校と水城西小学校の水泳授業の指導業務が民間委託されます。



● 水泳指導業務委託料 11,781 千円  
民間業者に水泳指導を委託する費用です。



老朽化した水城西小プール

こんな質疑がありました

問: 2つの小学校の水泳の指導業務を民間委託する理由はなんですか?

答: 小学校の先生の働き方改革の一環でプール管理と水泳授業の負担を軽減するとともに、プール施設の老朽化で改修しなければ利用できないためです。

問: プールの改修工事の試算はどうなっていますか?

答: 水城小学校と水城西小学校のプールの塗装をやりかえる費用として、約3,000万円が必要となります。

問: 水泳授業はどのように実施されるのですか?

答: 水城小学校は2つの民間プールを、水城西小学校は市民プールを利用して、教員とともに民間インストラクターが水泳指導にあたります。

問: 水泳の指導業務の民間委託で、子ども達にどのような効果が期待できますか?

答: 天候に影響を受けないため指導時間をしっかり確保できるとともに、教員と民間インストラクターで手厚い指導ができると思います。

問: 太宰府市の全部の小中学校で、水泳の指導業務を民間委託する方針なのですか?

答: まずは2校から始めますが、子ども達と先生たちにとっての良い環境と、公共施設のありかた等も考えながら、可能であれば適切に導入を図りたいと考えています。



# 3月 定例議会レポート

## 主な補正予算

### ◆平成30年度一般会計補正予算(第8号)及び平成30年度一般会計補正予算(第9号)について

平成30年度一般会計補正予算(第8号)にて歳入歳出それぞれ1億8千433万2千円を増額補正し、平成30年度一般会計補正予算(第9号)では、歳入歳出それぞれ3億2千884万円を増額補正し、予算総額が264億8千12万円となりました。

原案可決

一般会計補正予算(第8号)の主な内容は、障がい福祉のサービス利用者増加、胃内視鏡検診の受診者増加に伴い、不足する健康診査等委託料に係る費用の計上などです。

一般会計補正予算(第9号)の主な内容は、国の方針決定により、市内小中学校の特別教室の空調整備事業に係る費用として計上されています。また、平成31年度に予定されていた太宰府東中学校のトイレ改修事業については、国庫補助金の内示がありましたので、前倒しして計上されています。

### ◆平成31年度一般会計補正予算(第1号)について

今回の補正予算は、歳入歳出からそれぞれ5千694万6千円を減額し、予算総額が243億6千928万4千円となりました。

原案可決

主なものとして、上述の太宰府東中学校のトイレ改修事業費が平成30年度に計上されたことにより1億8百84万円減額するものと、国の補助事業として行われる「プレミアム付商品券事業」の事務費に係る費用3千24万1千円を増額するものです。

## 全会一致で可決した議案

案件	議案番号	案件名	議決結果
1	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
2	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
3	議案第1号	太宰府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
4	議案第2号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決
5	議案第3号	財産の取得(史跡地)について	可決
6	議案第4号	太宰府市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
7	議案第15号	太宰府市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
8	議案第16号	太宰府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
9	議案第23号	太宰府市屋外広告物等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
10	議案第27号	太宰府市営駐車場条例の制定について	原案可決
11	議案第28号	平成30年度太宰府市一般会計補正予算(第8号)について	原案可決
12	議案第29号	平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
13	議案第30号	平成30年度太宰府市水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決
14	議案第31号	平成30年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
15	議案第34号	平成31年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
16	議案第35号	平成31年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について	原案可決
17	議案第36号	平成31年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
18	議案第39号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決
19	議案第40号	平成30年度太宰府市一般会計補正予算(第9号)について	原案可決
20	議案第41号	平成31年度太宰府市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
21	意見書第2号	建設従事者のアスベスト被害の早期救済・解決を求める意見書	原案可決

平成31年第1回定例会を2月21日から3月19日まで27日間の会期で開催しました。議案といたしましては、諮問2件、人事1件、財産取得1件、組合格約改正1件、条例の制定1件、条例の一部改正23件、一般会計補正予算3件、特別会計補正予算1件、公営企業会計補正予算2件、一般会計予算1件、特別会計予算4件、公営企業会計予算2件、その他1件の審議を行いました。主な審議内容をお伝えします。

## 主な人事

### ◆太宰府市固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成31年3月14日付けをもって、太宰府市固定資産評価審査委員会委員 藤田修司<sup>ふじたしゅうじ</sup>氏が任期満了となるため、同氏の再度選任を求めるものです。

同意

## 主な条例改正

### ◆太宰府市中央公民館使用料条例の一部を改正する条例について

平成31年10月1日から消費税が10パーセントに改正されることに伴い、中央公民館基本使用料をそれぞれ改定するものです。

原案可決

### ◆太宰府市自動車駐車場条例の一部を改正する条例について

平成31年10月1日から消費税が10パーセントに改正されることに伴い、国道3号関屋高架橋下パーク・アンド・ライド自動車駐車場使用料月額「5,140円」を「5,230円」に改めるものです。

原案可決

### ◆太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

医療分に係る所得割額の税額を7.1%から7.37%に、平等割額を「2万6,500円」を「2万8,000円」等に改定するものです。

原案可決

### ◆太宰府市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

平成31年10月1日から消費税が10パーセントに改正されることに伴い、それぞれのメーター口径に合わせて個人負担金が改定されます。(例：メーター口径13mmの場合16万2,000円から16万5,000円に改定)

原案可決

# 会派代表質問

**Q** ①マルチメディアアデジー教科書は、学習障がいや、聴力障がい、支援を必要とする子どもたちにとって有用であるとされる。本市のインクルーシブ教育事業にアデジー教科書を活用されてはどうか。

②水泳の指導業務を民間に委託するなどメリット・デメリットを検証するに値する新しい取り組みがはじまっているが、昨年検討頂いた小学校給食費の公会計化は、まだ検討中なのか。

③子育て世代包括支援センターの今後の運営について伺う。

※マルチメディアアデジー教科書を音声情報付きでデジタル化したものです。  
※インクルーシブ教育・障がいにかわりなく、誰もが自分に合った配慮を受けながら、地域の通常学級で学べることを目指す教育理念と実践プロセスのことです。

## 問

学問の神様にふさわしい教育・子育ては

公明党太宰府市議団  
おばた まゆみ  
小畠 真由美 議員

### 全質問項目

「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について  
「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について  
「民間の知恵を生かした高齢者福祉」について  
「自衛隊と連携した市民の安心安全」について

## A

市長 ①インクルーシブ教育の推進は、本市教育施策の重要な柱であり、アデジー教科書を含め、有効なツールについては、積極的な活用がなされるように学校や保護者への情報提供を進めています。

②給食の公会計については、教育委員会の職員と学校事務職員が協力して調査研究を行っています。今後、文部科学省から示される予定のガイドラインに基づき検討を進めます。

③安心して妊娠、出産、子育てが出来るよう、今まで以上にきめ細やかな対応が出来るよう検討してまいります。

## Q

政策決定にあたっては人口動態の正確な把握が重要である。

## 問

本市の人口動態を把握しているか？

日本共産党太宰府市議団  
ふじい まさゆき  
藤井 雅之 議員

### 全質問項目

「就学前児童の転入、転出の状況について(結び)」  
「就学前児童の転入者数より転出者数が多い状況について」  
「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について  
「民間の知恵を生かした高齢者福祉」について  
総合計画「後期基本計画」について

## A

市長 総務省統計局が公表している住民基本台帳に基づき、国内における人口移動の状況を明らかにした住民基本台帳人口移動報告によると、0歳から9歳では総じて転出者数が転入者数を上回る転出超過の状況です。これに対し、10歳から19歳においては転入超過となっています。

このことから、就学前児童の保護者は転出超過、小・中学生の保護者は転入超過であると想定されます。なお、市全体・全年代の人口動態をみると、これまでは転入超過でしたが平成29年度に減少に転じた状況です。

## 賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

件数	議案番号	案件名	結果	公明党		宰光			市民ネット		新政会		共産党		無党派			
				員由美	剛	宮仲一	田久美子	山良尚	船越隆之	柳原庄一郎	徳永洋介	村山弘行	長谷川公成	上	神武綾	藤井雅之	門田直樹	木村彰人
1	議案第5号	太宰府市行政財産使用料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議案第6号	太宰府市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	議案第7号	太宰府市立小学校及び中学校施設使用料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議案第8号	太宰府市中央公民館使用料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議案第9号	太宰府市立運動公園条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議案第10号	太宰府市体育センター条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議案第11号	太宰府市立太宰府史跡水辺公園条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議案第12号	太宰府市総合体育館条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議案第13号	太宰府市いきいき情報センター条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議案第14号	太宰府市男女共同参画推進センタールミナス条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議案第17号	太宰府市人権センター施設使用条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議案第18号	太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議案第19号	太宰府市畜犬の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	議案第20号	太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	議案第21号	太宰府市地域活性化複合施設太宰府館条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	議案第22号	太宰府市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	議案第24号	太宰府市自動車駐車場条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	議案第25号	太宰府市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	議案第26号	太宰府市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	議案第32号	平成31年度太宰府市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	議案第33号	平成31年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	議案第37号	平成31年度太宰府市水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	議案第38号	平成31年度太宰府市下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	意見書第1号	統計不正問題の真相究明と信頼回復を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
25		議長の辞職について	許可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※橋本健議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。  
 ※以下の会派名について、一部省略して記載しています。  
 公明党:公明党太宰府市議団 新政会:太宰府新政会 市民ネット:太宰府市民ネット  
 共産党:共産党太宰府市議団 無党派:会派に所属していない議員  
 ※25番「議長の辞職について」陶山議員は議長の職務を行ったため表決権を有しません。また、橋本議員は地方自治法第117条により議事に参与していません。

## 陳情・請願

1	陳情第1号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める	総務文教常任委員会に送付
2	陳情第2号	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	環境厚生常任委員会・建設経済常任委員会に送付

### 光 入江 議員

#### 全質問項目

- 3つの工程について(冒頭)
- 「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- 「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について
- 「環境重視の逆転の発想で渋滞解消」について

### 問

3つの工程への言及は不要ではないか？

### Q

「市政混迷の原因を明らかにし徹底した情報公開を図る。」  
「市長・市役所・市議会・市民の心を一つにして市政再建に乗り出す。」  
「太宰府の底力を引き出し、日本を代表する都にしてい。」

### A

市長 市長就任にあたり本市の未曾有の混乱からの脱却を第一に考え、議員・職員・市民の皆様との信頼関係の再構築に腐心して参りました。おかげさまで太宰府の底力を引き出す端緒についてと認識しております。しかしながら端緒をもって目的達成ということはできません。今後市長としての原点を忘れることなく、本来の意味で皆様に喜んでもらえる、暮らしやすい活力あるまちを目指して市政運営に邁進する所存です。

昨年所信表明で、楠田市長はこの「3つの工程」を太宰府市の混迷を立て直す方策とし、市政改革7つのプランを執行する環境整備であるとしていた。今般の施政方針で、今年度は「実践と構想の年」、実行の一年であるとされるが、3つの工程の深化・拡充も進めるとも述べている。すでに太宰府市は混迷を脱し、改革の環境は整ったとお考えなのか伺う。

### 太宰府市民ネット 徳永 洋介 議員

#### 全質問項目

- 「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- 「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について
- 総合計画「後期基本計画」について

### 問

これからの学校教育環境を問う

### Q

「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について4点伺う。  
①更なる向上を図る「学力」とは文部科学省の求める学力と考えてよいか。  
②STEAM教育について  
③不登校児童・生徒の支援の施策と方向性について。  
④学校閉庁時間の設定と中学校部活動の改革による働き方改革の具体的な中味は。

### A

昨年同様、市内民間企業と連携し、小学生を対象にプログラミングや物づくりなどを学ぶ場を社会教育として提供していきたいと考えています。  
②29年度に教育支援センターの機能を強化しました。31年度からは市内の大学と協力して引きこもりがちな児童・生徒の居場所づくりに取り組み予定です。  
④録音機能付き電話を設置し教職員の勤務時間外の電話対応の省力化を図ります。太宰府市一斉ノー部活動デーを設定し、休養日を市内4中学校でそろえました。また、外部指導員派遣制度を導入し部活動指導に係る教職員の負担軽減につなげます。

### A

市長 ①文部科学省の示す「生きる力」を一つの要素とする「学力」も、基本的には賛同できます。

### 太宰府新政会 長谷川 公成 議員

#### 全質問項目

- 「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- 「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について
- 「積極的広域連携による大太宰府構想」について
- 「自衛隊と連携した市民の安心安全」について

### 問

今後の通級指導教室と学校施設整備の推進は

### Q

特別支援教育および学校施設の整備に関連して市長の見解を伺う。  
①通級指導教室をまだ開設していない学校にも拡大する計画があれば示していただきたい。また、早期開設が難しいのであれば、巡回型にして児童生徒や保護者の負担を無くすことを考えてみてはどうか。

### A

市長 ①通級指導教室は、教育的意義やニーズの増加を踏まえ、できる限り全ての小中学校に設置していきたいと考えています。巡回型については、柔軟な時間割の作成が難しくなること、指導員と保護者との情報交換を行っていくくなる等の課題があることから、保護者のご協力を得ながら他校へ通級する現在の指導体制を継続して参ります。  
②東中学校については、トイレ全面改修を行って、学びやすい学習環境を整えます。公共施設のトイレ洋式化は、施設の老朽化や改修時期、優先順位などを総合的に勘案しつつ、順次、経済的効率的に実施いたします。

②太宰府東中学校のトイレを洋式化するにあたり、多数の公共施設がある中でトイレ洋式化はどのような順番で計画しているのか。



### 問 児童・生徒が勉強できる常設の学習スペースを 宮原 伸一 議員

### Q

太宰府市内の公共施設には、児童・生徒が学習できる場所や席数が少ない。そこで、とびうめアリーナの敷地内に学習施設の新設を提案するが、市長の考えを伺う。

### A

望がありました。早速、夜10時まで開館しているとびうめアリーナに、自由に利用できる仮設の学習スペースを確保しました。ご提案の学習施設の新設については、アリーナに隣接するスポーツ振興事務所の建替え時に検討するなど、調査研究をしたいと考えています。併設については、先ずは軽食等の自動販売機設置や弁当の取次などを、指定管理者と協議しながら考えていきます。

### 個人質問

### A

市長 意見箱に寄せられた市民の声でも、夜間まで勉強できる場所が欲しいとの要

### 部長

カフェの設置については、営業や衛生



**全質問項目**

◇小・中・高校の児童や生徒が自学する場所について

# 個人質問

**Q** 太宰府市には年間1000万人もの観光客が訪れている。昨年12月、子ども議会において中学生が観光客のマナーアップをめざす提案を行なった。第三次太宰府市環境基本計画には市民や事業者のマナーアップを図る条例の制定がうたわれており、観光政策と環境政策をむすびつつ、中学生の提案を踏まえて「ごみのポイ捨て禁止条例」などの制定をすすめてはどうか。地域・事業者・行政が一致して環境の向上、マナーアップを進める土壌づくりにもなると思うが、見解を伺う。

**A** 市長 本市は平成13年に環境基本条例を制定し、良好な環境の保全・形成を図っています。また空き缶等の散乱防止及びその再資源化の促進に関する条例を福岡都市圏市町が共同で制定し、国県への要望、事業者の協力促進、ポイ捨て禁止PRなどにつなげてきました。観光、環境の両面から新しい条例づくりを市民と共に進めることで、たしかに環境意識は高まり、市が一体となって環境向上をはかる土壌づくりが進むと思われまます。調査研究を進めたいと思います。



**問** 新たな環境マナーアップ推進条例の制定を  
木村 彰人 議員

## 全質問項目

- ◇観光客のマナー向上に向けた取り組みについて
- ◇「太宰府型宿泊滞在促進戦略」の進め方について



# 個人質問

**Q** 市内全ての小・中学校の図書館に専任の図書司書が配置され2年が過ぎた。そこで2点伺う。  
①学校図書館基本指針が策定されたことにより学習センター、情報センタールとしての環境整備が必要だと考えるが現状と今後について伺う。  
②学校図書司書の処遇について、基本指針をもとに活動するのであれば、教職と同じく正規職員にすべきと考えるが検討されているのか。また、今後の方向性について伺う。



**A** 教育部理事 ①学校図書館では、授業や調べ学習で必要となる資料、データが揃っていることが大切です。現在、各学校の蔵書数を見ますと学校図書館図書標準で示された蔵書冊数に至っていない学校もあり、学校間の相互貸借、学校と市民図書館とのネットワークを構築する必要があります。②本市では、各小・中学校に臨時職員として学校図書司書を配置しており、教員と同じ勤務時間の正規職員を配置する場合、概算で人件費として、現在の2.5倍の財源が必要となり、全ての



**問** 学校図書館基本指針の今後の方向性は  
神武 綾 議員

## 全質問項目

- ◇学校図書館基本指針の策定に関連して、学校図書館の役割の明確化と司書の活躍を期待することについて
- ◇子ども食堂に対する行政支援について
- ◇納税困難者への対応について

学校に配置することは大変厳しい状況です。勤務時間外についても、担任、教科担当の教員、学校組織全体による読書活動への転換を図ります

**Q** 本市の今後の学習活動に積極的にICTを活用することになると思うが、ICT活用の留意点として健康面への配慮が指摘されていることから以下3点について伺う。  
①裸眼視力1.0未満の小中学生の割合が過去最高となっているが、本市の視力判定状況について。  
②黒板の文字を判断する遠見視力検査に加え、タブレット画面等を判断する近見視力検査が必要と考えるが見解について。  
③厚労省は昨年、中高生の1割超がネット依存の疑い有りとして発表して



**問** ICT教育と子どもの健康  
堺 剛 議員

**A** 教育部理事 ①福岡県による平成30年度版学校保健統計速報によると、裸眼視力1.0未満の割合は、小学生38.4%、中学生60.1%であり、全国平均と比較して高く、年々増加傾向にある課題として十分認識すべきと考えます。②近見視力の測定については、国、県の動向を注視し研究したいと考えます。③ネット依存はさまざまな問題につながっていることから、近見視力検

## 全質問項目

- ◇本市の学校ICT導入活用推進について
- ◇中高年のひきこもりについて



査と同様、研究事例、国、県の動向を注視し研究して参ります。

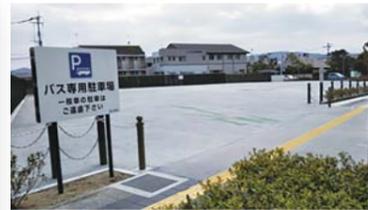
**Q** 日本遺産の認定を受けた特別史跡大宰府跡前に、バス専用駐車場が供用開始された。各史跡、観光名所、歴史の散歩道の魅力が増すので、観光客を迎える際、おもてなしの面では非常に重要なものと思われる。そこで、2点伺う。  
①平成31年2月1日より大宰府跡前で供用開始したバス専用駐車場について、設置の目的と今後の管理運営について伺う。  
②駐車場内にトイレが設置されていないが、今後計画はあるのか伺う。



**問** 大宰府跡前バス専用駐車場について  
原田 久美子 議員

## 全質問項目

- ◇史跡地に係る公営駐車場について



保も必要と意見を受け設置を見送りました。

どうなっとうと？ 一般質問（個人質問）

どうなっとうと？ 一般質問（個人質問）

## 議会基本条例の検証報告(要点)

太宰府市議会では、太宰府市議会基本条例(平成26年4月1日施行)第15条の規定に基づき、条例どおりに実施できているかを議会運営委員会において検証しました。

今後は検証結果に基づき、議会運営を行っていくとともに、市民の期待に応えられる議会となるよう取り組んでいきます。

見出し	評価	主な取り組み状況	主な課題
— (前文)	評価対象としない	—	—
第1条 (目的)	評価対象としない	—	—
第2条 (議会の活動原則)	B	○平成28年8月、中学校給食調査研究特別委員会から市長へ「中学校給食の今後のあり方についての要望書」を提出した。	○政策提言、政策立案、条例提案について、機能強化を図っていく。
第3条 (議長及び議員の活動原則)	評価対象としない	—	—
第4条 (情報発信及び広報広聴の充実)	B	○意見交換会開催実績 第1回(H26)延44名 第2回(H27)延28名 第3回(H28)延28名 第4回(H30)延200名 第5回(H30)延122名 *第4回は、市議会解散に伴い開催できなかったH29年分。	○意見交換会の開催回数、内容、対象について引き続き検討する。
第5条 (会議の公開及び制度の活用)	B	○本会議、常任委員会、特別委員会は条例どおりに公開している。 ○参考人制度、公聴会制度を実施するような案件はなかった。	○障がい者の傍聴環境の整備と必要資料の提示を検討する。
第6条 (議会及び議員と市長等との関係)	A	○問責決議、辞職勧告決議、不信任決議を提出した。 ○一般質問は一問一答方式とし、傍聴者にも内容がわかりやすくなるように心がけている。	○会派代表質問は、会派同士で重複しないように調整を行い、効果的・効率的な質問に努める。
第7条 (政策形成過程の説明)	B	○政策等の案件内容に応じ、必要な事項の説明を質疑や質問により求めている。	○引き続き、各審査の際に説明を求めていく。
第8条 (自由討議)	C	○委員会のなかで自由討議の時間を設定しているが、積極的に行われていないのが現状。 ○本会議、委員会以外での議論は活発になりつつある。	○討論は活発に行っているものの、自由討議については、十分に活用できておらず、検討課題である。
第9条 (委員会の運営)	A	○委員会条例に基づき適正に運営されており、執行部においても委員会開催日程を利用し、委員会や協議会において迅速な報告を実施している。	○各委員会が議会閉会中の広聴活動をより活発に取り組む。
第10条 (体制整備及び充実)	B	○全議員が年2~3回の研修会に参加するとともに、会派や議員各自で研修会に参加している。 ○専門家を招いて議員研修会を行った。	○議員研修においては、引き続き組織内部の専門家等も視野に入れ、積極的に開催する。 ○不測の災害に備えるため、BCP(自然災害などへの対応を定めた計画)作成に向けて、調査・研究を行う必要がある。
第11条 (政治倫理)	A	○政治倫理条例制定特別委員会において、平成29年4月1日施行した。 ○条例に従い、政治倫理審査会を開催し厳正なる審査を行った。H29年度:2回、H30年度:2回	○これまでどおり順守していく。
第12条 (政務活動費)	A	○内容については基準を明確にし、収支報告書や領収書をホームページで公開している。	○政務活動費を有効活用し、政策立案につなげていく。 ○視察や研修の報告書について、出張した議員全員が所見欄を記載するよう努める。
第13条 (議員定数)	A	○平成21年6月に太宰府市議会議員定数問題特別委員会の設置を行った。その後、平成22年6月に太宰府市議会議員定数条例の一部を改正する条例を議員発議で行い、20名が18名になった。	—
第14条 (議員報酬)	A	○議員が連続する2回の定例会の会議すべてを欠席した場合、翌月以降の報酬を支給しないことを条例に規定した。(H28年)	—
第15条 (条例の検証及び見直し手続)	A	○条例制定後、4年目に7回開催し検証した。(H30.12.17現在)	○毎年点検を行いながら、4年を目途に検証を行う。 ○現時点では運用することに重きをおき、条例等の改正は不要と思われる。
評価の見方		A:できている。これまでどおり行う。 B:できている。ただし、改善が必要 C:できていない。検討を要する。 D:できていない。条例改正が必要。 E:その他	

議会基本条例の検証報告の詳細内容につきましては、太宰府市議会のホームページをご覧ください。



議会基本条例の検証報告の詳細内容につきましては、太宰府市議会のホームページをご覧ください。

こちらから →



## 個人質問

**Q** 市内の星ヶ丘交差点近郊の商業店舗が空き家になっているが、敷地内の樹木が垣根を越えて道路に覆いかぶさるようになり大きく張り出している。  
通勤通学時間帯には、自動車、自転車、歩行者が多く、また通勤通学時間帯以外でも、この道路を通って近くのコンビニに買い物に行ったり、通院する高齢者が多数おられる。視界を遮る樹木は、歩行者や自動車の安全な通行に大きな支障をきたしており、地域住民の安心・安全確保のため、市の早急な対応が望ましいと考えるが、見解を伺う。



**A**

**市長** 道路上に、はみ出した樹木の伐採につきましては、土地所有者に適正な管理をしていただく必要があります。市道、道路管理者であります本市より直接の訪問や文書により、剪定、伐採のお願いをしております。このような状況の中で地域住民の安心・安全確保のため再度所有者への連絡により早急な伐採をお願いしたいと考えております。市の関係課との連携や他市町の先進事例を参考にしながら対応してまいります。

### 全質問項目

◇道路にはみ出した樹木の伐採について



**問**

空家の適正な樹木管理の推進を

上

疆

議員

**Q**

今年の夏、豪雨があった場合の対応予定について3点伺う。  
①避難の必要性の高い住民に市は、これまでどのような対応を行ってきたのか。  
②それ以外の市民についての対応はどのように準備しているのか。  
③夏前に何らかの広報活動や周知活動を予定しているのか。



**A**

**部長** ①災害危険区域にお住まいの方には、早めの避難を行うよう、防災講座などで呼びかけてきました。  
②障がい者支援団体や支

**問**

災害に備え、市民への的確な情報発信を求む

笠利

毅

議員

太宰府市障がい者等災害時要支援者対策協議会の発足に対し支援を行ってきました。避難情報の発令については今後、より地域を限定した避難情報にしていきたいと考えています。また、避難所の開設については、より近い公共施設を避難所として開設してほしいとの要望等もありましたので、今後避難所となる施設を改めて点検、検討しているところです。

### 全質問項目

◇今年の夏、ふたたび豪雨があった場合の対応予定について  
◇「子ども議会」と子どもの権利について  
◇中学校給食導入について  
◇次期総合計画の策定について



災害意識の向上を周知していきたいと考えています。

# 正・副議長が交代しました

橋本議長の議長辞職が3月定例会において許可されました。

そのため、4月9日(火)に臨時会を開催して選挙(投票)の結果、陶山良尚議員が議長に、藤井雅之議員が副議長に当選しました。



(すやま よしひさ)  
陶山良尚 議長



(ふじい まさゆき)  
藤井雅之 副議長

議員17名の投票で選挙によって行われました(1名欠席)

議長選挙		副議長選挙	
議員氏名(敬称略)	得票数(票)	議員氏名(敬称略)	得票数(票)
陶山 良尚	6	藤井 雅之	10
門田 直樹	6	長谷川公成	6
小島真由美	2	笠利 毅	1
神武 綾	2		
長谷川公成	1		

議長選挙は、最多得票数が同数でかつ法定得票数の5票を超えていたので、地方自治法第118条第1項の規定により準用する公職選挙法第95条第2項の規定により、くじで当選人を決めました。

## 市議会議員人権・同和問題研修報告

### 平成30年度市議会議員人権・同和問題研修

とき 平成31年2月14日(木) 13:45~

ところ 福岡県人権啓発情報センター

講師 中島 一磨 氏

演題 『明るい地域社会をつくるために』

出席議員 17名

長年、ブリヂストンの総務部長として企業内同和問題に取り組んでこられた経験をもとに、企業と人権についてご講演をいただきました。

また、センター内の展示資料室を見学し、福岡県の同和問題の歴史について詳細な解説をいただきました。



#### ◇編集後記◇

平成の名を担った天皇陛下は、平成が戦争のない時代であったことへの感慨を述べられていた。

1989年を振り返る。ベルリンの壁が崩れ、天安門事件が起きた。日本では消費税が導入された。バブル期であった。

戦争は国境を挟んだ国を敵としてきた。この30年、敵は、あるいは国内に、あるいは国境とは無関係に選ばれてきた。隣人を敵とするテロがふえ、しばしば、その背景に何らかの格差がある。暴力は常に矛先を求めめるものなのかと悲しくなる。

「グローバルイズム」は、本来、自然への共感や隣人への愛と結びつくものだと、私は信じている。

(毅)

#### 議会広報特別委員会

委員長 原田 久美子  
副委員長 木村 彰人  
委員 藤井 雅之  
委員 入江 寿之  
委員 堺 江  
委員 笠利 剛  
委員 柳原 莊一郎